

平成 18 年 1 月 30 日

## 6 号機の定期検査状況について

当所 6 号機は今回の定期検査で、タービン建屋地下 1 階に設置されている給水加熱器ドレンポンプ\*<sup>1</sup> 3 台の点検を計画しており、平成 18 年 1 月 26 日以降、当該ポンプが収納されているポンプバレル（埋設容器）の吊り上げ作業を行ったところ、全台のピット（鉄製容器）内に水が溜まっていることを確認いたしました。

このため、それぞれの溜まり水について水質分析を行ったところ、当該ポンプバレル（A）および（C）のピット内の水から、トリチウム\*<sup>2</sup>が検出されました。

今後、詳細な調査を実施いたします。

なお、6 号機はプラント停止前にタービン建屋周囲に敷設されている排水設備\*<sup>3</sup>の水を分析しており、トリチウム等の放射性物質は検出されていないことから、外部への放射能の影響はないものと考えております。

以 上

### \* 1 給水加熱器ドレンポンプ

給水加熱器で発生する凝縮水を復水系統に回収するためのポンプであり、A・B・C と 3 台設置されている。

### \* 2 トリチウム

水素の仲間地球上のどこにでもある放射性物質で、原子炉の中でも発生している。

・自然界の海水のトリチウム濃度 約  $5 \times 10^{-4}$  ベクレル/cm<sup>3</sup>

・今回検出された水のトリチウム濃度

Aピット：約  $1.5 \times 10^{-1}$  ベクレル/cm<sup>3</sup>

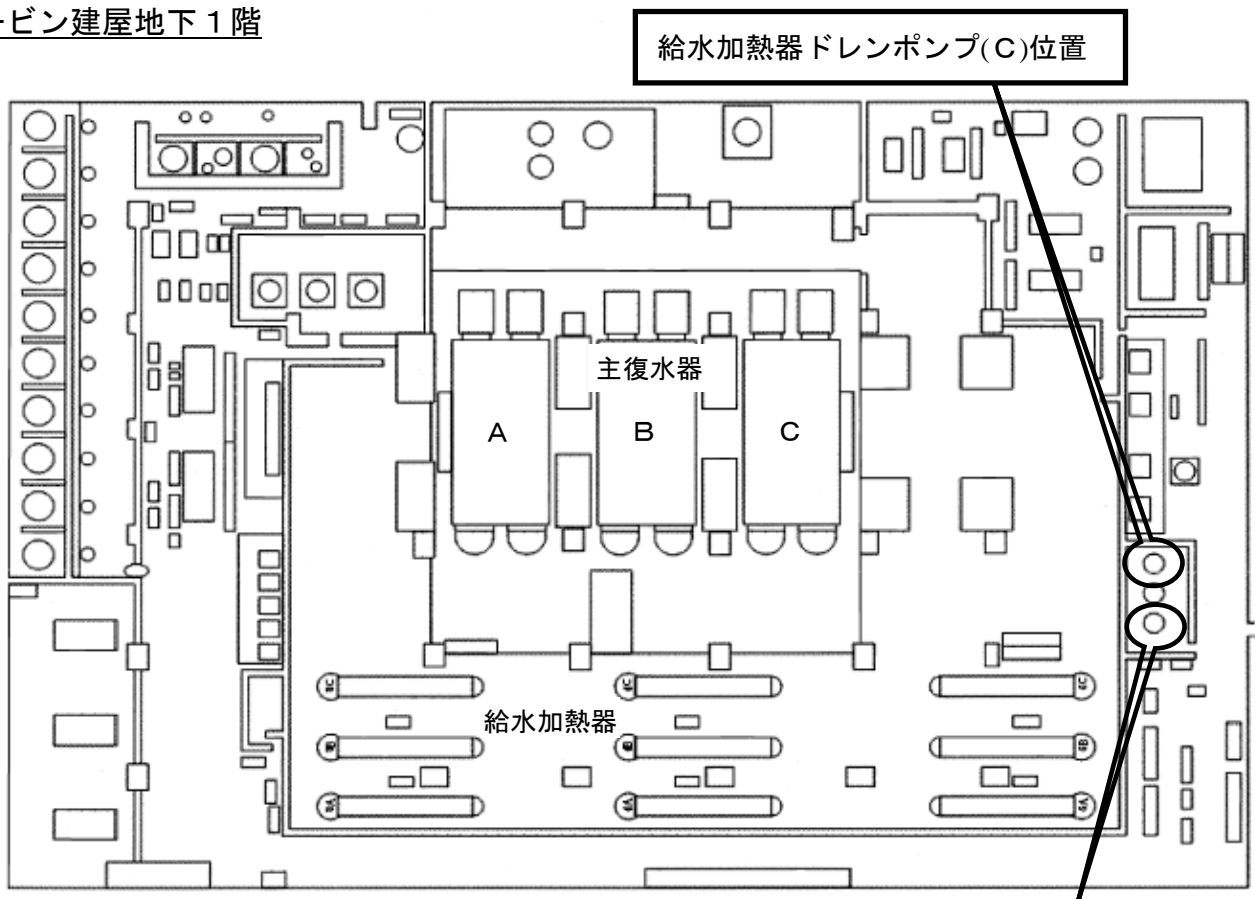
Bピット：検出されず

Cピット：約  $2.2 \times 10^{-1}$  ベクレル/cm<sup>3</sup>

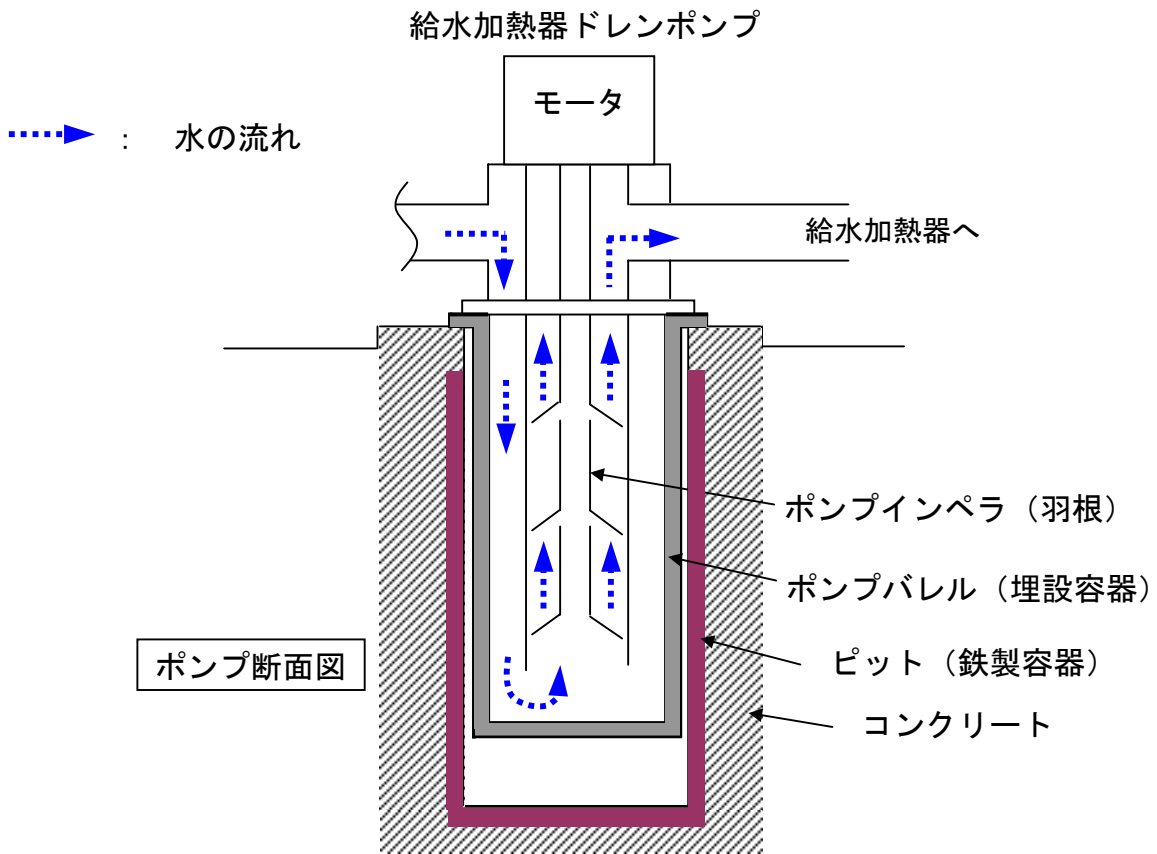
### \* 3 排水設備

各建屋に過剰な水圧がかからないよう、湧き水をくみ上げるための設備で、タービン建屋や原子炉建屋などの周囲に設置している。

タービン建屋地下1階



給水加熱器ドレンポンプ(A)位置



6号機タービン建屋給水加熱器ドレンポンプ概略図